飯田尚央・飯田将平 ガラス造形展

生けるガラス、自然美の結晶

ガラスと共に生きる

Hisao Iida & Shohei Iida, Glass Art Exhibition.



2022 7/10 SUN - 9/4 SUN ◉入場無料

【開館日】水・木・土・日曜日11:00～16:00（入館は15:30まで）【休館日】月・火・金曜日

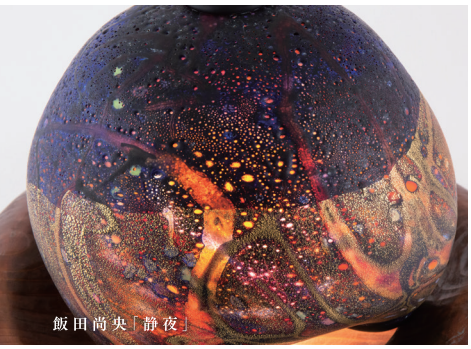
【会 場】緑ヶ丘美術館・別館 〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 1426-38

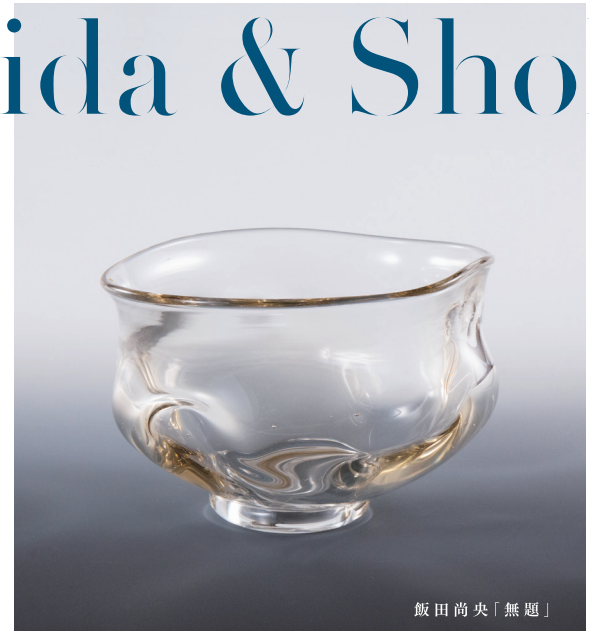
【URL】http://mam-museum.com/ ＜お問い合わせはFAXで：FAX 0743-85-7879＞

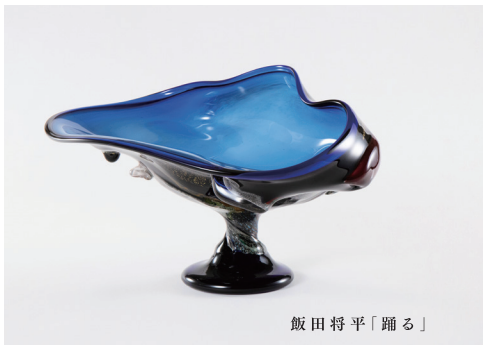
MAM ANNEX
Midorigaoka Art Museum
緑ヶ丘美術館・別館

飯田尚央の生み出すガラス作品には自然の波や風が有するような完璧な美の調和が保たれている。ガラスという素材の持つ本来の美しさを最大限に引き出し、その最も美しい瞬間を留める。

Hisao Iida & Shohei Iida


飯田尚央「静夜」

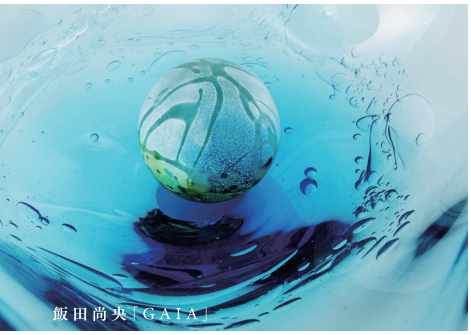

飯田尚央「無題」


飯田将平「踊る」


飯田尚央「穂波」

生けるガラス、自然美の結晶


飯田尚央「硯と筆」


飯田尚央「GAIA」

飯田尚央の生み出すガラス作品には自然の波や風が有するような完璧な美の調和が保たれている。ガラスという素材の持つ本来の美しさを最大限に引き出し、その最も美しい瞬間を留める。その魔法とも言える創作は、瞬く間に液体から固体へと変容する溶けたガラスの混沌とした状態を見極める研ぎ澄まされた観察眼と、全身の感覚を使ってガラスという素材と一体化する卓越した技術によってなされる。

そうした身体知と共に飯田の創作の根底にあるものは、ガラスを自然、生きものとして捉え、本来持っている伸びやかさと豊かさを解放させたいという想いだ。そこには、絶えず変化する自然を敏感に感じとりながら自然と共生してきた私たちの古来からの自然観が反映されている。ガラス制作の伝統的な技法ではガラスを型にはめコントロールしようとするが、飯田は主体と客体の境目が曖昧になるほど全身全霊でガラスと一体化し、ガラスを自由にさせる。

飯田が工房を構える常滑は伊勢湾に面した海の町でもあり、日本六古窯の一つ陶芸の町でもある。海と風と土、自然の豊かな要素が一体となっている土地で、長きにわたって技術と感覚を磨き、ガラスと共に生きてきた飯田尚央の生み出す作品は生きものの姿をしており、それはまさしく自然美の結晶でもある。

今展では飯田尚央のガラス作品と共に、子息の飯田将平の躍動する瑞々しい作品が並ぶ。「飯田尚央・飯田将平 ガラス造形展」ご高覧ください。


飯田尚央「GAIA」

飯田 尚央　Hisao Iida

1982　ザ グラス スタジオ イン オタル に参加
1988　金沢「国際ガラス工芸展」
1989　札幌 芸術の森「北の暮らしのガラス展」
1990　北海道ガラスアート展 優秀賞
　　小樽国際ガラス工芸フェスティバル
1991　日本ガラスアート展
1993　IGS国際ガラス造形展
1994　グラスワークス・楽 LUCK(常滑市)設立
1997　ビアマグランカイ札幌
2002　「日本現代ガラス展・能登島」能登島賞
　　伊丹国際クラフト展
2004　金津創作の森「酒の器展」
2005　宙吹きガラス体験のワークショップを始める
　　(以後継続)
　　多くの人に高温で溶けている柔らかいガラスの
　　本質と扱い方の理解を深めていただくための活動
2014　陶芸家 鯉江良二氏と出会う
　　鯉江氏の素材を知悉した上で自然に素材に
　　任せる作品制作への取り組み方に共通点を感じ、
　　自信を深め確信となり、新たな創作への転機に
2018　「テーブルウェア・フェスティバル2018～暮らしを
　　彩る器展～」麺を愉しむ器コンテスト 入選

1985～　福島、埼玉、東京、静岡、愛知、滋賀、石川、京都、兵庫、香川、愛媛、鹿児島等、毎年各地の百貨店、ギャラリーにて個展、グループ展

飯田 将平　Shohei Iida

1991　北海道小樽市生まれ
2010　グラスワークス・楽 LUCK(常滑市)に参加
2015　豊橋「穂の国百貨店」グループ展
　　名古屋栄三越グループ展
　　丸亀「あーとらんどギャラリー」グループ展
2016　常滑「morrina」グループ展
2017　名古屋「丸栄」二人展
　　東京「新宿伊勢丹本館」グループ展
2018　名古屋栄三越二人展(以降毎年)

飯田尚央・飯田将平 ガラス造形展

生けるガラス、自然美の結晶

MAM ANNEX　緑ヶ丘美術館・別館
Midorigaoka Art Museum

〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 1426-38
【FAX】0743-85-7879
【URL】http://mam-museum.com

アクセス　美術館には駐車場がございませんので、お越しの際は公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

公共交通機関〈地下鉄中央線・近鉄けいはんな線〉または〈近鉄生駒線〉〈近鉄奈良線〉で『生駒駅』下車。生駒駅「南口１番のりば」より奈良交通バス『中菜畑二丁目行き』乗車→『新旭ヶ丘バス停』下車、徒歩すぐ。

